
Not **あたし** But **ぼく?!—あたしではなく、ぼく?!**

菊澤美甘

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Not あたし But ぼく？！――あたしではなく、ぼく？！

【Nコード】

N1850I

【作者名】

菊澤美甘

【あらすじ】

あたし、神谷 悠、高校2年、男勝りだとよく言われる女子。馬鹿兄のせいで転校する先は、『男子校』！！ラブに行くか、コメディに行くか、他の道に行くかは、暴走するキャラクターに任せちゃう、仮・学園ラブコメ

Prologue

何でこんなことに…

ごく普通に乙女として、十六年間生きてきて、こんなことになるなんて、天国にいる両親は思ってもみなかっただろうに。

【神谷 悠】かみや ゆう こと高2の女子。

ただいま 只今。これでもかというほど大きな門の下で、これから住む高校の寮の前にいた。

文武両道に力を入れる由緒正しき伝統校。

【白劉学園高等部 男子寮】はくりゅう

そう。『男子寮』

なんで思春期の女子が、男子寮に入らなきゃいけないのか。

それは、これまで私を大事に育ててくれたはずの、十歳離れた兄のせいだ。

何故こんなことになったのかというのは、数日前のこと。

——数日前——

『ゆうちゃん。悪いんだけどさー…』

夏休みが終わる数日前。

近くの高校に通っていたあたしは、今年は去年の反省を活かして、宿題を完璧に終えていた。

なので、のんびりお昼近くに起きると、珍しく兄が仕事に行かず、最近結婚した涼子さんとリビングの机で何かを話し合っていた。

お兄ちゃん―孝弘^{たかひろ}が結婚するまでは、あたしとお兄ちゃんとで一軒家に住んでいたが、美人で女らしく、お兄ちゃんの一つ下の涼子さんと結婚してからは、あたしが未成年だからって三人で暮らしていた。

いつも色んな意味で熱々な彼らを邪魔したら悪いと思ったから、一人で、朝食兼昼食の食パンをキッチンで立ったまま食べていた。そんな時に、あたしの存在にやっと気が付いたのか、二人で目を合わせて、お兄ちゃんがあたしに話し出したのだ。

そして、衝撃の事実が告げられる。

『お兄ちゃん達、海外に転勤が決まったから、転校して、全寮制の学校に行ってくれないかい？』

『……はふ？（はい？）』^{フリーズ}
食パンをくわえたまま、あたしは氷漬^{フリーズ}けになった。

『いやー…ね。お兄ちゃんも涼子も海外に転勤が決まったから、海外に行かなきゃいけない。だからって言って、高校生活真っ最中のゆーちゃんまで連れていけないし、一人で家に置いていく訳にもいかないだろ？』

『…んぐつ。それで？』

つまりかけていたパンを飲み込むと、恐る恐る尋ねた。

お兄ちゃんが子供っぽく人差し指をつんつんして合わせるポーズは、何か言いにくいことを言うときに使う。

だから、ここで恐らくあたしには都合の悪いことを言ってくるでしょう（天気予報士風に）。

『手続きはしたから、すぐにでも通える^{かよ}ようにはしているから…、
だけど…』

『…だけど？』

腕を組んで、あたしはお兄ちゃんを精一杯の笑顔を浮かべてあげた。

『ゆーちゃん…目が笑ってないよー…』

『早く言いなさいっ！！』

ビクッとお兄ちゃんが肩を竦めると、うつすら涙目になっていた。

『悠ちゃん、ごめんね？この馬鹿が間違っ《男子校》を選んでじゃ
って…』

『へえー、男子校。…はい？』

今、何ておっしゃいましたか、義理姉様。^{おねえさま}

何か変な単語が聞こえた気が…。

『今、何と…？』

『ん？男子校だよ』

…誰か、夢だとおっしゃってください！！

ああ、十二時間睡眠で、寝すぎて頭がまだ眠っているんだよね。
うん。

そうだよ。

頬を引っ張ってみるか。

痛い痛いッ？！

『…ゆ、ゆーちゃん？』

不安げに上目遣いであたしを見る兄にキツと目を向けた。

『アンタのせいでしょうがッ！！妹の貞操がどうなってもいいのッ？！学校にバレたらヤバイでしょ！！』

『あ、学校側には、話しを通してあるし、男装すればバレないし』
『誰が貧乳だああ！！』

『いや、悠ちゃん。誰もそこまで言ってないし…』

涼子さんはやや呆れ気味に呟いていた。

この夏も、普通にＴシャツを着て、ジーパン履いたら、以前逆ナンされたことまである。（推定通算７７７回目）

それほど身体は女の子らしい特徴がない。

顔は、悪くはないとは、クラスの男子から評価されてるらしいという噂は聞いたことがあるが。

って、それどころではなくって！！

んなこと出来るかああ！！

——それが数日前のことで、今現在かというと、どうにもならないことは分かってるから、諦めて此処にいる。

本当に昔から疲れる兄だ。

渋々、伸ばしていた腰まであった長い髪をバッサリ切って、ショートカットにした。

なかなか様さまになってるって兄夫婦に誉められた。
嬉しくないよ、その言葉。

まあ、とりあえず、足を踏み入れて敷居を跨いだ。

これから、『あたし』改め、『ぼく』の新しい日々が始まる――！

P r o l o g u e (後書き)

読んでいただき、ありがとうございました。

更新が不定期になるとは思いますが、見に来ていただけたらと思います。

感想・指摘も待ってます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1850i/>

Not あたし But ぼく?!—あたしではなく、ぼく?!

2010年10月10日05時01分発行